

「大学生のための生命科学研究インターンシップ 2014」を開催

2014 年 9 月 5 日

生命科学研究に関心のある大学生を対象とした「大学生のための生命科学研究インターンシップ 2014」が、8 月 4 日（月）～8 日（金）の 5 日間にわたり開催された。今年は 120 名の応募があり、選考の結果、34 名の大学生が参加。参加者は配属先の研究室にて最先端の研究に参加する他、発生・再生科学の最前線を紹介するレクチャー、研究室訪問などを通して CDB の研究者と交流を図った。大学生に生命科学研究の面白さを体験してもらう目的で始めたこのインターンシップは、今年で 3 回目を迎えた。



各研究室での様子

配属先の研究室では、テーマに基づいた指導や実験が行われた。また、配属先以外の研究室を訪問する機会も設けられ、研究員の説明を真剣に聞き入ったり、ディスカッションに参加する参加者もいるなど有意義な時間を過ごしていた。



研究発表の様子



集合写真

最終日 8 日（金）には、5 日間の実験内容を発表する研究発表が行われ、ユニークな発表や鋭い質問など、チームの個性が伝わる発表会となった。また、今回初めてベストプレゼンテーション賞が設けられ、上位 3 チームが表彰された。最後に、林グループディレクターから、「今回の経験を活かしサイエンスの道に向かうきっかけになってくれれば」という講評をもって今回のプログラムが終了した。